

LUU WAVE

Stream System ダウンサイジングに基づくメモ

Introduction : What is this?

Luv Wave / Pretenders の基本システム、ストリーム・システムを実用化するためのメモ。

いろいろ思いついたことを羅列しているだけなので、他人が読むとワケわかんないかも。だから、敬語も使ってない。って、元々人に見せるためのモンじゃないけど、もし見せなきゃイケないことがあったときのために、こうして清書してまとめてあるのサッ。って、どうでもいいかそんなこと。

GAME SECTION!!

ストリームシステム及びゲームに関する事項

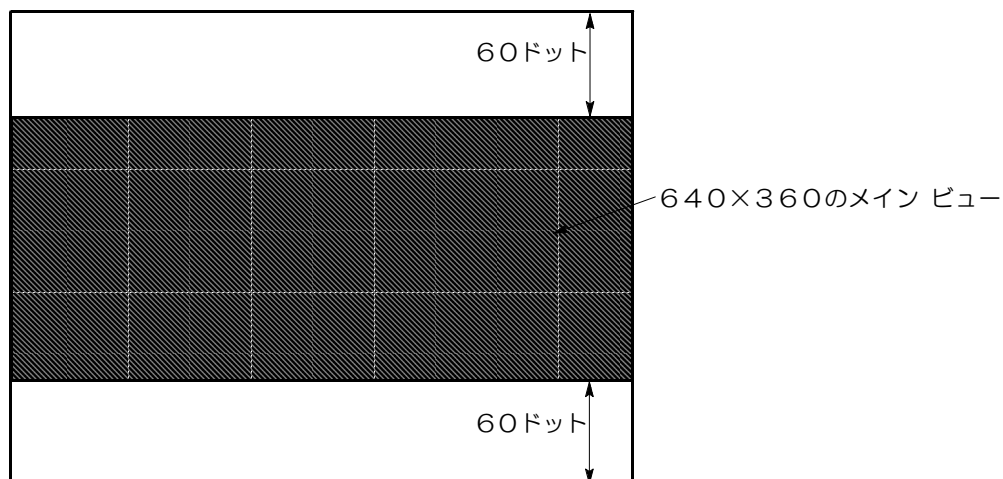
■画面サイズ

画面サイズは、ピスタを使用。640×360、縦横比9：16。

アクション アイコンや、システム ウィンドウ、メッセージ ウィンドウはその外に出す。

基本的に、メイン ビューを中心に持ってくるようにする。

参考までに640×360のフルカラーのデータ サイズは、691,200バイト。256色だと、230,400バイト。



640×480のパソコン画面

■必要なCG

今考えているだけでも、以下のようなCGが必要。

- ・背景(800*520)
- ・バスト・ショット(アニメ有り)
- ・アイコン
- ・オブジェクト・アイコン(場合によってはアニメ有り)
- ・動画
- ・パラパラ動画
- ・マウスカーソル

■サウンド

サウンド データは今考えているだけで、以下のものが必要。

- ・WAVデータ(効果音 & セリフ)
- ・GS フォーマットMIDIデータ
- ・SC-88Pro マップMIDIデータ
- ・CD-DA(SC-88Pro からHDD録音、企画者のイメージBGM)

■背景

しかしいきなりゲームの話だよ。lapse と何の坎ヶーもないジャンはモランボン。

背景は実際に表示されるメイン ビューよりも縦横160ドットオーバー。つまり、800×520ドットで描く。色数は256が好ましいが、前作 **DIvi-Dard** (仮) の例を挙げるならば、フルカラー(?)。

ちなみに、800×520のデータ サイズはフルカラー時 1,248,000バイト、256色時 416,000バイト。16ビットだと、832,000バイト。

■基本モーション

バスト ショット扱いのグラフィックは256色で表現し、これらは常にアニメーションする。

以下のようなものを、基本モーションとする。255番目のパレットを抜け色とする。

- ・目パチ
- ・ロパク
- ・喜怒哀楽
- ・各キャラクタ固有の動作
- ・イベント時に必要な特別な動作

■オブジェクト・アイコン

オブジェクト アイコンとは、『見る』『とる』コマンドなどで対象となりうる物体のことで、もちろんバスト シ

ショットのキャラクタも含まれるが、それ以外のアイテム（花瓶とか絵とかパソコンとか）を指す。基本的な仕様は、バスト ショットCGと変わらない。

- ・256色で表現し、アニメーションするものはアニメーションさせる。
- ・255番目を抜け色とする。

■AVI動画

動画は AVI を使用する。

オープニングやエンディングに書き下ろしのアニメを使用する。

他にも一発アニメ、スタッフ ロールにも使用するが、これらのアニメーションは静止画の合成を利用する。これらのアニメは企画者がコツコツと静止画をうまく重ね合わせたりして作る。

あと、DIvi-Dead（仮）に収録するための AVI（30秒を予定）。

■^{アニメ}パラパラ動画

0. 5～1秒間隔で表示するパラパラ アニメ。

鉛筆描き（または薄墨）のラフなものを使用する。例えば主人公に抱きつくアリスとか、主人公がアリスに上着をかぶせるときとか、なかなか絵になるシーンにパラパラッとアニメさせる。エンディングやイベントに使用。要するに書き下ろしのイベント アニメーションがムリなら、パラパラ動画で効果的にしようと言うワケ。

■マウスカーソル

マウスカーソルは、Windows95のアニメーション カーソルのデータフォーマットで作る。

マウスカーソルは2次的利用が可能で、自分の Windows95 に組み込むことができる。

■アリスの感情育成

ゲーム開始時、アリスは感情にひどく欠損部分がある。

主人公に接してゆくことによって、悲しみや喜び怒りを覚え、またそれを表情として表現するようになってゆく。そして、最終的に主人公に恋するようになる。表情豊かになってゆくアリスをトータルとして楽しめるようにする。したがって、アリスの基本モーションは他のキャラクタに較べて、多く持つ。

アリスのパラメータ。

- 喜び——褒める／プレゼントする／ミッションが成功する
- 悲しみ——怒る／ものを取り上げる／ムシする／主人公が負傷する／ミッションが失敗する
- 怒り——怒る／プライドを傷付ける（バカにする）／不当な扱いをする／主人公が負傷する
- 羞恥心——褒める／過保護／辱める（脱がす、奸す）／愛する
- 楽しみ——褒める／ミッションが成功する／プレゼントする／二人きりである／遊ばせる
- 主人公への愛——褒める／適度に怒る／プレゼントする／二人きりである
- 快感——性的行為／キス／くすぐる／甘やかす

■Windows95データ

声優さんのセリフで、Windows95 のイベントPCMに使えるようなモノを別ディレクトリに納める。
これらのPCMは2次的利用が可能で、自分の Windows95 に組み込むことができる。

■MIDI“KNOW-HOW”

予定されているデータは以下の通り。1曲につき、三つのSMFファイルとなる。

SC-55MAP GS

SC-88MAP GS with EFX effecters

XG module

SC-55/SC-88 を共存させる手としては、01～10チャンネルを SC-55MAP で作成。11～16チャンネルを SC-88MAP で作成するが、ここには SC-55 がない音色を使用する。そうすれば SC-55 で “NO INSTRUMENT” のエラーは表示されるものの無音で演奏されるため^{*1}、どちらのモジュールでも正しく演奏される。

XG と GS の共存はおそらく無理。

■霧田 気作りのためのBGM

メイン テーマを一つ決める。あとはシーンごとにジャンル分けする。

- ・オープニング——テクノ
- ・真由美1st&薫——ヒーリング／インダストリアル
- ・第1部——テクノ
- ・第2部——フュージョン
- ・第3部——テクノ～ヒーリング／インダストリアル
- ・エンディング——テクノ、ヒーリング／インダストリアル、ロック、フュージョン

■女の子イベント!!

何も XINN や真由美1stに関してがすべてではない。本ゲームの16種類のエンディングを実現するためには、規模縮小のため、真由美1stだけでは持たない。そこで、**ダイン・ワイズマン／ASH／アリス／ユリ／衛／加奈子**についてイベントを設けてみた。彼女たちを攻略することによって、別のエンディングへと発展させるのである。

多岐川 加奈子

☆傾向と対策：サポートしてあげる、守ってあげる

☆薫への対応：もともと、薫に気がある

☆行動 例：荷物を持ってあげる／仕事を手伝う／優しくする／彼女の肩を持つ／救う

☆加奈子の事：良家出。とろい系の女の子。射撃が帝謀No.1。アリスも一度も超えたことがない。

御子神 衛

☆傾向と対策：相手にしてやる／かまってる

☆薫への対応：もともとブラコン。初恋の相手は薫だった云々。

☆行動 例：捜査の協力／褒める／一緒にいる／本気で叱る・心配する／いじめる／弱音を吐かない

☆衛 の 事：気が強い。薫はあこがれであり、恋の対象であり、ライバルである。負けず嫌い。キッパ

*1 正確に言うと、SC-55mkII。ノーマルの SC-55 や SC-155 だと一番近い音色で演奏してしまう。

リ・サッパリ・ハッキリ。

高階 コリ

☆傾向と対策：人をどこかで信じたい

☆薫への対応：いつか自分を本気にさせてくれるのではないかという期待感を持っている

☆行 動 例：おごる／駆けつける／否定しない／話を聞いてやる／セックスを強要しない

☆ユリのこと：金が好き。自分のことを気に掛けてくれるヤツなんていない。気が強い。天才だと思っている。死への恐怖が薄い。

ALICE

☆傾向と対策：自分を必要としてくれる人を捜している

☆薫への対応：恋とかは別にして、気に入られようと一生懸命。

☆行 動 例：褒める／気に掛けてやる／いじめる／護ってやる／弁護してやる

☆アリスの事：自分の存在意義に疑問／感情表現の欠如によるストレス

ダイン ワイズマン

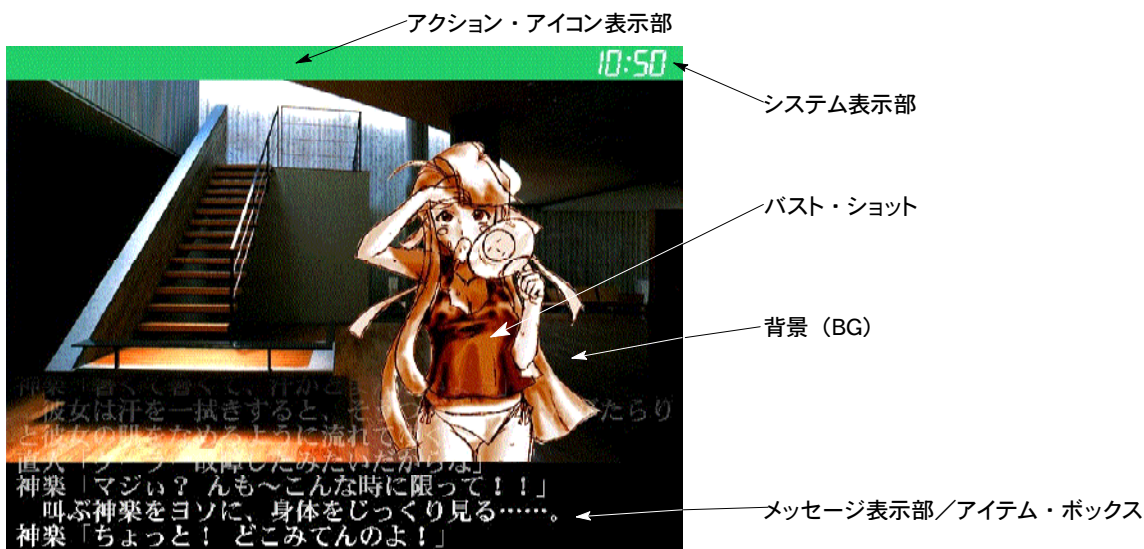
☆傾向と対策：女として扱ってくれる人

☆薫への対応：結構好みかも

☆行 動 例：デートに誘う／誠意ある付き合い／リードする

☆ダインの事：女王様タイプ（でも優しく付き合ったい）／神影のことを忘れたい／エスコートしてほしい

■操作系



メッセージが入力待ちの時は左クリックで次のメッセージへ進む【①】。

メッセージ表示部または①の状態でも右クリックすると、次の選択肢までジャンプ【②】。

①の状態ではない時、バストショットの顔を左クリックすると会話【③】。その他の場所を左クリックすると、触ることになり【④】、それをドラッグすればで手に取ることになる【⑤】。これはバストショットにも有効（抱き寄せる／つかむ）。右クリックの場合は、見るになる【⑥】。

アイテムを使いたいときは、アイテム ボックスから、ドラッグ&ドロップする【⑦】。たとえばバストショットにアイテムをD&Dすれば、アイテムを渡したことになる。

システム表示部で左クリックすると、セーブ/ロード/コンフィグ/ゲーム終了/ヘルプなどのシステムメニューに移行【⑧】。

■アクション・アイコンの数&マウスカーソル

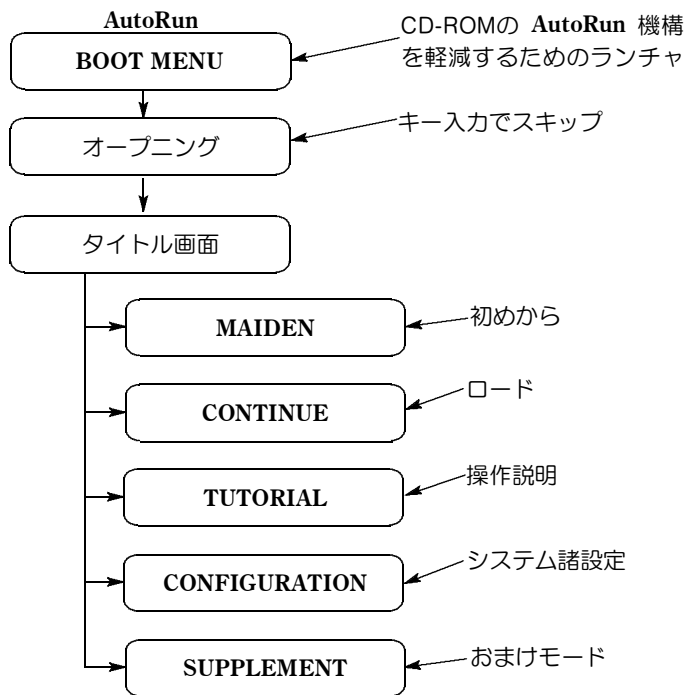
選択しに相当するアクション アイコンは以下の通り。

ATTACK (右クリックでメイン ウェポン/左クリックでサブ ウェポン)
相棒に攻撃指示 (アリス 加奈子 衛と一緒にの時攻撃指示/左右は ATTACK と同じ)
EXECUTE (実行ボタン/イベントなどに使用)

んでもって、操作系に関わるマウスカーソルは以下の通り

- ①リターン・マーク
- ②早送り矢印
- ③お話唇
- ④触る手
- ⑤⑦つかむ手
- ⑥見る目
- ⑧コンピュータ・マーク
- 入力不可状態 (6人の女の子アニメーション)
- 銃 (メイン・ウェポン使用時)
- 手榴弾 (サブ・ウェポン使用時)

■起動とタイトル画面



BOOT MENU はランチャという。ちょっとした小メニューで、luv wave を起動するかどうか聞いてくる。**AutoRun** で動作するプログラムを小さくするのが目的。ランチャに関しては後述。

オープニングは、キーボードのリターンキーまたはダブルクリックでスキップ可能 (操作系要検討)。

チュートリアルはちょっと独特な本ゲームの操作方法を解説。実際にオートでゲームを進行させてみる。

サプリメントはゲームクリア時に出るエロゲーお決まりのメニュー。ムフフモードとか、ムービー回想など。

上記の表にはないが、ゲームエンドもこのメニューから。ちなみにゲーム中のゲーム終了は、このメニューへ戻

ってくることを指し、Windows95に戻るにはこのメニューからということになる。

■ランチャ

luv wave を起動するためのプログラムがランチャ。本来はなんて言うのか解らない。便宜上ランチャとする。

ランチャの機能はメイン プログラムを起動するだけでなく、C's ware サイトへの移動や Direct X のインストール、luv wave へのショートカット作成などを行う簡単なメニューが付いている。

■現在抱えている問題とその回避方法について

☆BGの巨大化

デザインを見ても解るように、AVGは限られた空間でのみストーリーを成立させる。たとえばデザインを東京のど真ん中でやるとしたら、移動場所が多くなりすぎる。ストーリー構築という意味合いだけでなく、データ作成の面から見ても場所を限定するのは非常に有効なのである。たとえば、一つの学校、どこか人里離れた場所、都市内における移動場所の限定……。EVE は比較的従来の方法を破ったと言えるが、コレはただ単にデータ量が膨大だけである。それに、都市内における移動場所の限定、船上、イベント処理による移動場所の固定化など、結局基本的に変わってはイナイ。

もちろん、本ゲームも上記の方法を取らざるを得ないであろう。東京をどう表現するか、ウェズマの研究所を限定する、などなどの処置を執らねばならない。その中で、如何にして自然っぽくできるかが問題である。

☆分岐とデータ

分岐が多すぎてシナリオの構築が非常に難しくなっている。まあ、ストーリーは百歩譲って作れるとしても、そのデータを打ち込むのは至難の業である。一連の流れのあるストーリーでマルチシナリオ、マルチイベントは特に会話を複雑化させる。ソードワールドPCのようなマルチイベント式シナリオは、個々のシナリオが完全に独立しているためなんの問題もないが、前のイベントが後のイベントに影響を与えることになると、そのバリエーションの数は計り知れない。

■参考文献

- 『HAL伝説』 デイヴィッド・G・ストーク編/日暮雅道 監訳 早川書房
- 『FBI対CIA』 マーク・リープリング/田中昌太郎 訳 早川書房
- 『超巨大[宇宙文明]の真相』 ミシェル・デマルケ著/ケイ・ミズモリ訳 徳間書店
- 『新世紀エヴァンゲリオン絵コンテ集1~5』 GAINAX 編 富士見書房
- 『平成9年版 防衛白書』 防衛庁 編 大蔵省印刷局
- 『東京計画地図』 東京計画研究会 著編 かんき出版
- 『SWATテクニク』 毛利元貞 著 並木書房
- 『別冊数理科学 超弦理論-四つの力の統一へ向けて-』 サイエンス社
- 『CIA』 フリー・マントル著/新庄哲夫 訳 新潮選書
- 『新建築72号』 新建築社
- 『脳-高次機能と分子機構からさぐる脳疾患』 辻 省次 編 メジカルビュー社
- 『月刊GUN 97/12,』 国際出版株式会社
- 『インサイドTCP/IP』 片山 裕 監訳 インプレス
- 『攻殻機動隊』 士郎正宗 著 講談社
- 『AD.POLICE』 トニーたけざき 著 株式会社バンダイ
- 『ニューロマンサー』 ウィリアム・ギブスン著/黒丸 尚 訳 早川書房
- 『軍事研究』 株ジャパン・ミリタリー・レビュー

■サービス（おまけ）

☆壁紙

☆マウスカーソル

☆イベントWAV

☆CD-DA

☆壁紙製造プログラム

☆おまけモード

イベント再現（出来るのか？）

チュートリアル

Hモード

ミニゲーム（出来るのか？）

サブシナリオ（出来るのか？）

DATA SECTION!!

データ

BUSTSHOT ANIMATION

バストショット・アニメに関するメモランダム

■基本パターン

基本パターンは登場人物すべてのバストショットが持っているべきデータのコト。また、アリスと衛と加奈子については主人公と共にしている場合、通常は主人公の隣におり、それは背を向けたバストショットとして表現されるため、基本パターンは主人公向きのバージョン【OPPOSITE】と隣にいるバージョン【FLANK】の2種類が必要である。

女性キャラクタ

女性キャラクタの基本パターンは以下の通り。これらは表情だけでなく、なるべく身体全体（オーバーアクション気味）で表現されます。これらはすべて主人公に対してのアクション/リアクションです。

またこれらは使い輪^{まわ}姦するので、いくつかのセリフを兼ねることが出来るように作らなければなりません。

- ①立ち——目パチ、ロパク
- ②クスクス笑い(まだ我慢できる)
- ③口を開けての笑い(我慢できない/指さして笑う/ば～か～)
- ④ちょっと怒った(つ～ん/フン!/口聞いたげない)
- ⑤怒った(んだあ、コラあ/ぶつとばあすぞお!)
- ⑥残念そう(え～?/な～んだ)
- ⑦哀しそう(フルフル/涙目/お願い、死んじゃイヤ!)
- ⑧得意気(へっへ～ん/にやにや)
- ⑩仰天(うっそお!!/あれ!/?/おんや～?/おっとお)
- ⑫恥ずかしいよ～(ふにふに～/いや～ん/ぼっ)
- ⑬恐怖(ひええ/ドッキン、ドッキン/ひしっ)
- ⑭苦笑(あららら……/やれやれ/あ～の～ね～!/おいおい/バカみたい/呆れ顔)
- ⑮心配そう(ドキドキ/大丈夫かなあ?/どどど、どうしょおおお!)
- ⑯困った(う～むむ……/ちょっと待って/考え込み/腕を組むとか、手を顎に当てるとか)
- ⑰虚ろ(ぼ——/……/上の空/毒電波受信)
- ⑱肯定(こっくり/頷く/うん…/間違いない!/にっこり/オッケー!)
- ⑲否定(首振り/ブンブンブン!/やだ/だ～め～/違う違う!)
- ⑳崩れ(デフォルメ)

男性キャラクタ

男性キャラクタの場合、女性キャラクタの半分。表情替えだけでオッケー。

- | | |
|--------------|------|
| ①立ち——目パチ・ロパク | ⑥得意気 |
| ②口を開けての笑い | ⑦仰天 |
| ③怒り | ⑧羞恥心 |
| ④残念そう | ⑨呆れ顔 |
| ⑤哀しそう | ⑩恐怖 |

■キャラ別特殊パターン

イベントごとに必要な特別な動きのことで、BGに左右されたりイベントの内容によってクビが吹っ飛んだり仰け反ったり、銃を撃ったり、本を開いたり、部屋の中を歩き回ったり……その種類は相当数に上るとされる。むしろ、代用できるパターンは出来る限り代用できるよう、テーブルの作成が必要になるとされる。

なんの印も付いていないと、それは **OPPOSITE** のみのバーストショットのこと。

アスタリスク【*】1つは、**FLANK** のみ。アスタリスク【*】2つは、**OPPOSITE** / **FLANK** 両方必要。

ALICE

- ・拳銃、撃ち*
- ・隠し拳銃、撃ち*
- ・SMG3点バースト撃ち／ループで再生すれば、フルオート掃射*
- ・動揺／痙攣**
- ・ナイフ首切り*
- ・

ASH

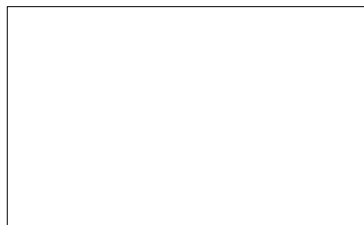
- ・考え込む
- ・両掌を上に向けて

BACK GROUND

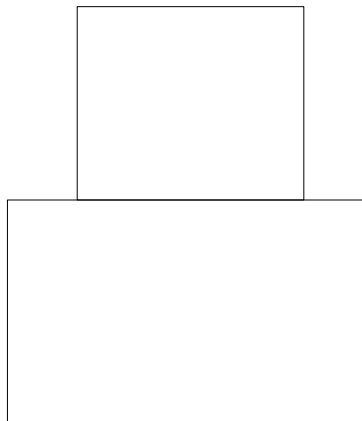
背景に関するメモランダム

■ 大きさ

BGのサイズは基本が800×520ドット。ただし場合によっては、上にのびたり横にのびたりする。



標準的な800×520



640ドット幅、上がのびている例



さらに広がっている例

■ 統一感の出し方

各CGデザイナーはそれぞれクセや趣が異なる。そのため、移動するたびに、BGなどの雰囲気が変わりかねないので、デザイナーには一括して一つのセクションをその人の個性でやってもらう。たとえば、〇〇さんは新宿一帯を、〇△さんは旧羽田空港を、〇□さんはアリスの部屋全般を……と言う具合である。こうすることによって、一つのセクションで一つの絵柄にまとまるので、プレイヤーにとっても全体的に統一感があるように感じるコトだろう。

セクションは、メカ系【IHI 工場／研究所、ウエズマのラボ、日本DD】、屋敷系【真人京子／アリスの部屋、局長／指揮官クラスの部屋】、基地系【自衛隊駐屯地／米軍基地、旧羽田空港】、オフィス系【帝謀／警視庁／ユリの部屋1／ビル】、プライベート系【主人公／衛のマンション／ユリの部屋2】、学校系となっている。

NARRATIVE SECTION!!

シナリオとそのフロー及びイベントに関する事項

STORY&EVENT

ストーリーとイベントに関するメモランダム

■登場人物の追加

ダイン・ワイズマン【♀：Dyne Wyzman】

デジタル デマンド社社長&神影首領

スティーブン・メイヒュー【♂：】

米国防総省陸軍のエージェント。

多岐川 加奈子【♀：Kanakō Takigawa】

主人公を慕う、帝謀のメカニック。MJP が起こした殺人事件の関連を主人公に教えてくれる。わずかながら、アリスのメンテナンスが出来る。応急メンテは彼女に頼むと良い。また、帝謀一の狙撃の腕を持つ。この記録はアリスのコンピュータ同期モードを持っても破られていない。

真由美1st【^{メナールキ}MENARCHE】

初代アリス。初めてのMJP。主人公と関係あり。

西田 泰之【♂：Yasuyuki Nishida】

アリスの義肢開発の開発室長。アリスをメンテナンスしてくれる。

■物語上必要な人々

キャラデザが必要なレベルのキャラクターたち。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 御子神 薫 | 11. 大伴 天音 |
| 2. 御子神 衛 | 12. スティーブ・メイヒュー |
| 3. 高階 ユリ | 13. 西田泰之 |
| 4. アリス | 14. 自衛隊情報部長 |
| 5. マシー・スペクター | 15. 真由美1st |
| 6. アシユ | 16. 御子神 薫(13VER) |
| 7. 真人 京子 | 17. 若き、ウエズマ |
| 8. 山下 聖香 | 18. 麻薬のブローカー(暴力団員系) |
| 9. ダイン・ワイズマン | 19. 東南アジア系の麻薬ブローカー |
| 10. 大伴 利信 | 20. 多岐川 加奈子 |

■実際に舞台となる場所

本物語で舞台となるであろう場所の候補地。

- ① ~~ラングレー~~——CIA
- ② ~~ペンタゴン~~——米陸軍、情報局
- ③ 新宿——薫の部屋、山下聖香
- ④ 市ヶ谷——自衛隊
- ⑤ 半蔵門——警視庁/帝謀
- ⑥ お茶の水～秋葉原——アシユの店、ユリの部屋
- ⑦ 中野～高円寺——衛のアパート、アリスの部屋

- ⑧赤坂見附～四谷——デジタル・デマンド社
- ⑨有明——旧デジタル・デマンド社ビル, 地下
- ⑩旧東京国際空港—— IHI 兵器実験場 / ウェズマのラボ / デジタル・デマンドの実験場
- ⑪田無—— IHI エアロスペース研究所
- ⑫薫と真由美1stが通っていた小学校——幼少の記憶
- ⑬パラレル・ワールド各種——エンディング / イベント

■真人京子とアシュ

アシュを削る。

秋葉の店の番をしているのはアリスであり、これはカバーである。

真人京子がアシュの代わりとなる。

山下聖香がダイン ワイズマンを強請っていたことにする。

■導入～流れ

第一部

- ・ XINN 受信の様子がオープニング・アニメ。
- ・ マシー暗殺
- ・ 暗殺後、アリスと会話
- ・ ユリの部屋へ
- ・ ユリと会話 (&セックス)
- ・ 自分の部屋に戻って休む
- ・ 次の日の朝 (11時頃)、衛が遊びに来る
衛も朝帰り→ L-MJP 常習者によるビル爆破の阻止 / 自分の家よりも薫の部屋の方が近かったなど / シャワー、着替えなどを借りに来た / ついでに世間話 / 衛のベッド占有
- ・ 帝諜へ出勤
大伴に報告 / 加奈子に会う / ビル爆破などのうわさ話 / アリス出勤 / XINN 現象の説明 / マシー暗殺の後日談 / CIA からの質問事項
- ・ ネットワーク・ダイブ
アリスとネットワーク捜査 / XINN の手がかり探し / セキュリティにプログラムが引っかかる→識別子が、マシー・スペクター? / 同時に、XINN 現象
- ・ 家路へ
衛が待っている / ユリが何かつかんだらしい / 飯を食う / XINN の話
衛、薫の服を拝借してるのでブカブカ /
- ・ ユリの部屋へ
XINN 現象にビックリした / ユリなりの解ったこと / 新しい仕事について / XINN の説明 (ユリ個人としての) / 帝諜から呼び出し / デートの約束
- ・ 帝諜にて
デジタル・デマンドとの協力体制及び調査 / XINN の説明 (帝諜側) / 日本DD、CIA と関係の容疑
- ・ 日本デジタル・デマンド社、社長室へ
真人京子とすれ違う / ダイン・ワイズマンと対面 / XINN のこと / 日本デジタル・デマンドの自慢話 / 日本DDの軍需産業参加について
- ・
- ・ L-MJP 常習者によるビル爆破事件
高性能爆弾による脅迫 /
- ・ 帝諜、情報漏洩事件
薫の関わったミッションに関するすっぱ抜き / 責任問題 / 大伴からの処分 / アリスの更迭 / 謹慎処分 / 自衛隊情報本部長の暗殺
- ・ NINE HEAVEN
謹慎の間、衛が転がり込んでくる / 新麻薬 NINE HEAVEN 捜査の協力 / 気晴らしの衛とのデート / 夜、作戦行動中のアリスに出会う / アリス、誤射 / 捜査協力 / アリス、硬直
- ・ ユリの所へ
グチなど、しげこみ状態 / NINE HEAVEN の話 / ニュースを見る / アリス、事故る / 帝諜からの召還

- ・ **MJP 発信源を突き止める**
再開しようとしている地区の廃ビル内／衛の麻薬組織とブッキング／共同突入／全員射殺／**L-MJP** を発見——一部を衛から分けてもらう／旧世代コンピュータの発見——アリスの刻印／
- ・
- ・ **日本デジタル・デマンド社ハッキング**
研究棟が使用不能／電源切断——不可／攻撃プログラム入力——無効／地下通信ケーブル切断／旧研究棟に反応／**MJP** 真人と対決／**MJP** の消滅及び日本DDの機能低下
- ・
- ・ **大伴自身による情報漏洩事件**
ゲート・プログラムなる存在／**MJ-MAYUMI** に関する資料／大伴の失踪
- ・ **大伴を暗殺**
暗殺命令／大伴の捜索／ロシア連邦保安局の接触／東京某所への潜入／大伴の暗殺
- ・
- ・ **天音の憑依事件**
局長室に不審者進入／天音が待っている／局長室への侵入についての説明／大伴であることを知らせる／**ASH** の店へ／**CIA** のゲート・プログラムに関して／**MJ-MAYUMI** の大方の真相
- ・
-
- ・ **IHI 兵器実験場(旧東京国際空港)へ**
デジタルデマンド・セクションの捜索／衛&**RIOT** の到着／衛と合流可能(その後分散)／ウエズマのラボ発見／すでに固定されているアリス／ウエズマのネタばらし／米陸軍、羽田到着——**RIOT** と交戦状態／ウエズマすでにネットワーク内に、衛との交信切れる／ウエズマを逮捕しようとする／**XINN** 現象開始——それに伴う停電、防護装置の作動／タイマー表示／不適に笑うウエズマ／米陸軍突入／ウエズマ&アリス撃たれる／薫、アリスに駆け寄り／**XINN** ピーク／アリス、薄笑みを浮かべて薫に口づけ／時間→エネルギー変換／爆発
- ・ **次元シフト**
ホワイトアウト／思わせぶりのメッセージ／
- ・ **バッド・エンディング——新宿へ**
新宿東ロススクロール／衛のイヤミー言／モノクロ化
la...la...luv wave / ログ表示 / ブラックアウト

第二部

☆真由美&薫 I——真由美1stとの出会いから

- ・とある中学校の授業風景から始める
ラジオのホワイト・ノイズで目が覚める／出勤／授業風景
- ・教師は帝謀の副業だと言うことを何らかのカタチで知らせる
- ・大伴のグチ(最近ヒマだ～などなど)
- ・コンビを組んで Ash に会う
- ・ Ash とデート

☆真由美&薫 II【図書委員として】

- ・朝起きて……考える
- ・授業
- ・自分の教科準備室で——真由美2ndとのひととき

☆真由美&薫 III【次元の話】

- ・事件を一つ解決(Ash と組んで)
- ・次の日、教科準備室で真由美2ndとセックス

☆真由美&薫 IV【初めてのセックス】

- ・ Ash に最近変だと言われる
- ・衛にも最近変だと言われる
- ・**XINN** 現象発生——ウエズマを紹介される

☆真由美&薫 V【求愛】

- ・**XINN** 現象——ダイン・ワイズマンの仕業
- ・衛が追っている麻薬組織について——衛とセックス

☆真由美&薫 VI【父の話／母の話】

- ・ダイン・ワイズマンを逮捕
- ・作戦遂行中に倒れる——ウエズマの所へ運ばれる

☆真由美&薫 VII【上級生に暴行】

- ・ウエズマの理論説明

- ・自分を取り戻すためのプランを立てる——その最中に呼び出し
☆真由美 & 薫 Ⅷ【自殺未遂——父に殺されるコトなど】
- ・デジタル・デマンドの廃ビルにあったアリスという名前のコンピュータ
☆真由美 & 薫 Ⅷ【薫クン、家出しよう】
- ・再び XINN 現象が
- ・ウェズマと Ash をつれて旧東京国際空港へ
☆真由美 & 薫 X【東京国際空港の悲劇】
- ・ウェズマにもとの世界へ返してもら

第三部

ウェズマのラボで目を覚ます。辺りは静けさに包まれている。

■XINNの正体

XINN とは結局の所 MJP と真由美 1st が作り出した声である。

ネットワークを一つの脳とする MJP による仕業。つまり、ウェズマも CIA も MJP に踊らされていただけ。全ての計画は、ネットワーク内に巣くった MJP の仕業であり、それはアリス本人でもあるというオチ。解りにくいぞメチャクチャ。これに過去性を追加する。つまり昔にタイム スリップしたか、1 代目のアリスが自分自身をアピールしたくてネットワーク内に侵入²した。彼女は自分の存在を知ってもらうために、シグナルを送り続けた。

何十年かが過ぎ、CIA が MJP の開発に成功し、MJP をネットワーク内に流す。初代アリスの MJP (メナーキ) はそれを発見し、うまくコントロールし、シグナルを一度に世界中に送ることができるようになる。またその一方で、メナーキはネットワークの広大さを知り、自分の身体と勘違いし始める。やがてメナーキは自分自身が地球であると思いこむようになって行く³。

そして、MJP は真由美2ndと出会う……。

■レイヤー構造とエンディング

物語は、エンディングの種類によってオチが異なる。しかしながらこれは秘密にしている度合いが異なるにすぎず、全体を通しては真実の一つでしかない。つまり一つの真実が別の真実を作り出し、最終的に luv wave という物語が形成されているのである。これをレイヤーと言い、迎えるエンディングによってその深さが異なる。とりあえず各秘密を並べてみた。

深さ	アリス	ウェズマ	XINN	ワールド
1	MJP	3+1次元の超越	自然現象	パラレル ワールド
2	真由美1stであり薫の娘	MJP	地球の意志	XINN の夢の中
3	メナーキ&ダップ	人の無からの蘇生	MJP の弊害	やっぱりパラレル-ル [*] ?
4	アリスは Ash になる		メナーキの呼び掛け	

エンディングは上記のレイヤー構造に従うものとする。エンディングにはそれぞれレイヤーの深さが決められていて、オチが説明される。レイヤーは各項目 (アリス/ウェズマ/ XINN /ワールド) によって異なっているため、

*2 MJP によって成し遂げられた。

*3 身体が精神を支配するのでは? という予測から。

単純計算で144種類のエンディングが用意できる^{*4}。

その①

ウェズマのラボに **XINN** の全データを集結させ、ラボごと人工衛星で吹っ飛ばす。時間ギリギリまでアリスを救出しようとする

- 1-1: 救えず、自分だけ脱出。もしアリスの愛情が途切れていなかったら、4-5へ。
- 1-2: 救出に成功し、二人で生還。
- 1-3: 二人とも間に合わず、吹っ飛ばされる。
 - 1-3-1: 過去へ……(電車の中での告白タイム)
 - 1-3-2: ネットワークの夢の中へ
 - 1-3-3: 未来へ……(森の中——何とか生きられるらしい)
 - 1-3-4: 異世界へ……(次元ワープ)

その②

米陸軍によって救出されたアリスを介抱する。そこに、**XINN** こと真由美1stが侵入する。

- 2-1: 自分の手によってアリスを射殺し、真由美1stを永遠に葬り去る。
- 2-2: 自分の中に真由美1stを迎え入れる。
- 2-3: 別れを告げて、その①へ
- 2-4: ユリが真由美1stとの融合を立候補する(ユリが生きていれば)。
- 2-5: 衛が真由美1stとの融合を立候補する。
- 2-6: 加奈子が真由美1stとの融合を立候補する。
- 2-7: 真人京子からもらったシリコン・ディスクに真由美1stの意識をコピーする。
- 2-8: 自分の脳の中に、アリスを迎え入れる。

その③

真由美1stの意識を **XINN** から取り出すことは出来ず。地球の意志となってしまった真由美1stが破壊されるのを見ているしかない。

- 3-1: 人工衛星の高圧レーザー攻撃を見守るのみ。主人公の周りには衛たちが……。
- 3-2: アリスの身体だけでも返してもらおう。
 - 3-2-1: ほとんど脳機能を失ったアリスを衛と二人で面倒見ることに……。
 - 3-2-2: アリスに、真由美1stが宿っているようだ。
- 3-3: 人工衛星の高圧レーザー発射間近で **XINN** 現象。最早 **MJP** を消すことは出来ないのか! ?

その④

KAEDE-MEMO (名称未定)を発見すると、エンディングがさらに延びる。これらのエンディングは、上記のエンディングに加算される(スタッフ・ロールのあと)。

- 4-1: 真人京子に会い、説明を聞く。
- 4-2: 真人京子のコンピュータを直接のぞいて実態を知る。
- 4-3: 真人京子の店の中にアリスが眠っているのを発見する。
- 4-4: 4-1の発展—アリスも、**XINN** も薫の真由美1stを殺したコトによる罪悪感が作り上げたデータではないか? そして、真人京子は薫によって作られ、育った大人の真由美1st。やがてこれらのデータは薫の脳からコンピュータへ、コンピュータから人々の脳へ。やがてお互いが認識し合うようになる。そうして人々の記憶の中に定着していったのではないか?
- 4-5: 街角でアリスの意識の入った女の子を見かける……。

例外

上記の4-4のエンディングは例外である。ここでは元凶は主人公だったというオチが提供される。

薫は無意識下で真由美1stを殺したことにストレス(罪悪感)を感じていた。やがてそれは彼の頭の中で膨らみ、何とかその過去を消そうとした。しかもそれは記憶からではなく、現実という世界から。結果的に、彼の頭の中に真由美1stは生き続けた。そしてそれはネット内に侵入し、**XINN** を、真人京子を作り上げて行く。やがてそのデータも他の人々の中に入り、まるでそこに彼女たちが存在しているかのようになる。つまり、触れることが出来、多くの人間が同時にそこに認識することが出来る。

薫の妄想から生まれたこれらのデータは、ネットワークを通じて意志を持ち、より人の脳へと近づき、人の脳よりも圧倒的に多い素子をフル活用してついには人の脳を越えるのである。こうして出来上がった真由美1stこそが地球の意志でありそれを護るのが真人京子を初めとする8人の意識体なのである。

*4 それぞれのオチを単純にかけると、 $4 \times 3 \times 4 \times 3 = 144$ になる。

■ イベント

以下に物語上必要なイベントは以下の通り。これらは皆3分以上の時間を要し、始まりと終わりのある一つの固まりとなっており、エンディングはここには含まれない。また、マルチイベント性をとっているため、全てのイベントを通過するわけでもない。イベントは100以上、大小合わせて200用意するつもりである。

多岐川 加奈子

- 003. 加奈子とH
- 034. 加奈子による東南アジアで起きた暗殺の説明
- 080. 加奈子とアリスの過去を探る
- 085. 加奈子が薫の相棒になる
- 086. 狙撃！！(狙撃手:加奈子/観測手:薫)
- 023. 加奈子からのL-MJPに関する分析結果
- 032. 加奈子、CIAに暗殺される(未遂)
- 063. 加奈子とデート
- 090. 加奈子とコンビを組むことになる
- 091. 加奈子、ドジ(ギャグ系)
- 066. 加奈子の告白

ダイン・ワイズマン / ^{シャドウ}神影

- 035. ダイン・ワイズマンとの対面
- 036. ダインとエッチ
- 092. ダインと夜のデート
- 093. コンピュータの可能性(MMIや脳のサポートなど)
- 095. 神影の情報を衛が持つてくる
- 098. 神影のボスは、私なのよ〜！ じゃじゃ〜ん
- 099. ダインもMJPか！？
- 084. ダインと神影

XINN

- 000. XINN 到来！！
- 016. XINN 現象第1回目～x回目
- 069. XINNをネットワーク追跡(接続先はダイン・ワイズマン)
- 070. XINN 現象による瞬間停電
- 071. XINNによる廃ビル閉じこめ(衛と/アリスと/加奈子と)

高階 ユリ

- 004. ユリとH
- 012. ユリ、米陸軍に襲われる
- 013. ユリ、MJPに暗殺される
- 039. ユリとのネットワーク捜査
- 062. ユリとデート
- 081. ユリと一緒にアリスの過去を探る
- 083. ユリが他の男と？(神影のエージェントと接触していた)

帝諜【帝室情報調査局】

- 001. マシー・スペクターを暗殺①
- 002. マシー・スペクター(山下聖香)を暗殺②

大伴 / 天音

- 014. 大伴、MJPに暗殺される
- 015. 天音、大伴の憑依事件
- 072. 大伴、情報漏洩事件
- 073. 主人公ら、大伴を暗殺

アメリカ【DoD / CIA】

- 041. CIAによるアリス襲撃
- 042. 米陸軍によるアリス襲撃
- 064. CIAの上層部が暗殺されているらしい話
- 065. CIAアセットとの駆け引き

MJP【Magic-Jar Program】

- 005. 真人京子、MJPに暗殺される
- 048. 自衛隊情報本部長がMJPに暗殺される
- 076. MJP移動によるトラフィック・サージ
- 077. MJPによる人工衛星落下
- 078. MJP、核施設襲撃

ウエズマ

- 006. ウエズマと初対面
- 024. ウエズマの研究室に警官隊突入
- 044. ウエズマを射殺

真人京子

- 046. 真人京子とXINNの調査

- 019. 真人京子との対面(店で)
- 020. 真人京子とのエッチ
- 060. 真人京子とデート
- 087. 真人京子の店で買い物
- 088. 真人京子、MJPに襲われるも簡単に跳ね返す
- 089. 真人京子の過去について尋ねるチャンス
- 067. 真人京子の世界線に関する講義

IHI【石川島播磨重工業株式会社】

- 008. IHI メンテナンスー西田からの情報
- 103. 米軍からの軍用義肢受注の話
- 104. 義肢ソフトウェア部は、日本デジタル・デマンドの兵器プログラミング開発部が請け負っていること
- 043. アリスのメンテナンス現場

日本デジタル・デマンド

- 009. 山下聖香のアプローチ
- 010. 山下聖香とのエッチ
- 017. 旧デジタル・デマンド社ビル突入
- 105. 山下聖香、暗殺される(真人京子に)
- 106. 神影とL-MJPに関するウエズマとダインの密会
- 068. 山下聖香の待ち伏せによるインタビュー

御子神 衛

- 018. 衛からの情報
- 022. 衛からの麻薬組織に関する捜査報告
- 038. 衛、謹慎処分を受ける
- 047. 衛に協力して麻薬組織の捜査協力
- 061. 衛とデート
- 096. 衛の初恋は実は薫だったんだよ～
- 097. 衛に帝謀が調べた情報を教えちゃう
- 082. 衛にアリスの過去データの照会を頼む

アリス【ALICE】

- 026. アリスの意味深な言動
- 027. アリス、行方不明(ウエズマの元へ)
- 028. アリス、硬直事件
- 029. アリス、事故る
- 050. アリスとデート
- 049. アリスとのネットワーク捜査
- 074. アリスの陰部(または首筋)に注射針痕
- 094. アリスの夢(真由美1stのコトを夢見る)
- 107. 真由美2ndのクビ無しの身体を見つける
- 075. アリス失踪その1(ダインの元へ)

薫／真由美1st

- 030. 幼少時代の記憶
- 031. 帝謀からの離脱
- 040. 自衛隊を敵に回す
- 045. 刑務所入り

山下聖香

- 007. 山下聖香、変態プレイ
- 011. MJP 山下聖香による研究ビルの乗っ取り
- 100. 山下聖香、ダインを強請る。
- 101. 山下聖香を陵辱する——京子、マゾに目醒める

事件その他

- 033. 麻薬常習者によるビル爆破事件
- 037. XINN 発生現象の地図上での確認
- 079. MJ-MAYUMI が暴露される

■ 隠匿情報

- ① 主人公＝アリス
- ② 主人公は MJP
- ③ ユリは中国エージェント
- ④ MJP の開発のスポンサーは CIA
- ⑤ 義肢開発のスポンサーは米陸軍
- ⑥ CIA と陸軍が小競り合いを起こしている
- ⑦ ウエズマのやろうとしていること
- ⑧ MJP の正体

- ⑨ ウェズマは CIA 側でもアメリカ陸軍側でもない
- ⑩ 日本デジタル・デマンド社はウェズマの研究機関に成り下がっている
- ⑪ ダイン・ワイズマンは、MJP である
- ⑫ アリスは、MJP である
- ⑬ スティーブン・メイヒューは国防総省情報局の回し者である
- ⑭ マシー・スペクターは MJP である
- ⑮ L-MJP の存在。

■サブ・イベント

登場キャラクタとデートしたり、語り合ったりするイベント。話の重要な部分に関わるようなイベントは組むことは出来ない。

- ・アリスを気分転換にデートに連れて行く
- ・山下聖香とセックスが出来る
- ・ダインとセックスが出来る
- ・加奈子のとデートが出来る～セックスへ
- ・アリスとかなりやらしいことをする
- ・真人京子にやらしいことが出来る
- ・アリス出生の秘密
- ・ユリが殺されるのを防ぐことが出来る
- ・衛とデート
- ・ユリとデート

BACKGROUND

各キャラクタの生い立ち等に関するメモランダム

■過去、何があったか……？

条件：

- ① 主人公とアリスは出会ったことがあり、顔見知りである。
- ② 二人の間には肉体関係があった(一応和漢)。
- ③ 主人公は、アリスを見捨てたか、何らかの不利な状況に置いた。
- ④ アリスは今でも主人公のことを慕っている。

真由美1stは逃げ場を求めていた。自分の存在を受け入れてくれる場所を、求めていたのだ。

真由美に薫がどのように映ったのか、それは解らない。ただ真由美1stは薫に興味を持っていた。ひょっとしたら彼女の持つ能力が、未来の薫を見たのかも知れない。

薫は特別彼女を意識していたわけではなかった。真由美1stとの接点は、図書委員に選出されたことだった。古びた学校の、古びた図書室。別にこれといってなかったが、彼女はよく本を読んでいた。二人を肉体関係へと誘ったのは真由美1stの方だった。

やがて二人の仲は濃厚に、淫靡になってゆく。

この中で、真由美は自分のコトを告白する。変な能力がある。父から陵辱されている。殺人を犯したなど。しかし彼女は自分の中に MJP が入っていることは知らなかったようだ。ただ彼女はしきりに自分の父親に殺されるのではないかなどと言うことを話していた。

そんな矢先、真由美1stが屋上から落ちるという事件が起きる。奇跡的に助かった彼女は薫にほそりと自殺であっ

とをほのめかす。さらに彼女は暴力事件を起こした。図書委員会の年上の女の子を半殺しにしてしまったのだ。原因は図書委員としての態度に関しての些細ないざごぎだった。

それでも二人の関係は続いた。

「薫グン、良かったらつきあってくれないかな。そう、遠くへ行きたいんだ、逃げたいんだすべてから」

薫はよく意味が解らなかった。

けれど、何となく面白くなって、彼女と一緒に列車に駆け込んだ。

やって来たのは旧東京国際空港……。海にかろうじて浮かぶ巨大空港跡。

「ボクはね、ここで生まれたんだ。この堅いベッドで……」

ウェズマのラボで彼女はうつる気味の表情を浮かべる。

「一度でいいから、ここに薫グンを連れてきたかったんだ。そうすればきっと、ボクは何かから逃れられるような気がしたんだ。だからいまは、スゴく、スゴく気分が落ち着いている」

「ボクは今夜、ここで殺される。ウェズマにね。ボクは見てしまったんだ。自分が死ぬ瞬間を。冷たい、冷たいこのベッドの上で、このベッドよりも冷たくなっていくのを見てしまったんだ」

「ボクは、キミの腕の中で死にたい。そうだ薫グン、ボクを殺してくれないか？」

「冗談だよ……そんなに怖い顔するなよ」

「薫グン、キミも服を脱いで……」

* * *

「んはっ……はっはっ……」

「これで何回目かな、キミと寝るの……」

「スゴく、気持ちよくて……すぐに、すぐに、何度も、何度もイっちゃうんだ」

「ほら、ほら、あっあっあっあっあっああああっ」

「これで、もう8回目。んっんっんっんっんっ」

「狂ってるんだ……ボクは……」

「お父さん、ボクは、ボクは、狂ってなんか……」

「はぐっ!!」

「熱い、熱いよ、薫グン……」

「キミが……キミがボクの中にいさえすれば……ボクは……」

* * *

「意識を集中しろ、真由美。私が見えないのか？」

「ダメです、真由美さんの意識が散らばって……とても MJP を動かせる状況には……」

「真由美! 真由美!」

「かおる……グン……」

「!!」

「いかん……このままでは……」

「ぎ、キミは!？」

* * *

「やあ、薫グン。ごめんよ、ボクがこんな所に連れてきたバツかりに……」

「良かった。どうやらキミは無事だったようだね。ボクは見てのとおりサ。でも、ウェズマに殺されなかったコトだけは幸運かな。薫グン、キミのおかげだよ」

「薫グン……キミとはもともと一緒に居たかった。でも心配はいらない。ボクは、そのために、そのためにこの身体から逃れなければいけないんだ」

「薫グン、ボクを殺してくれ。君にまた会うために……」

「キミじゃないとダメなんだ。ウェズマじゃダメなんだ。ボクを、はやく、はやく、はやく……」

「そうだ、そんなに難しいコトじゃない。ほらその電源を切れればいいんだ」

「それともなければ、ボクの首を絞めてくれればそれでいい」

「大丈夫、大丈夫だよ薫グン。その方がボクのためだし、キミのためなんだ」

生命維持装置の電源を切るか、首を絞めるかは、プレイヤーに任される。

* * *

「この少年を責めることは出来ませんよ、ウェズマ博士」

「あの事件は完全にあなたが起こしたものだ」

「この子にはすべてを忘れてもらって、返した方が無難だと思うんですがね」

「何を言うか! 私の娘をたぶらかし、奪ったのはこの少年なのだぞ!!」

「あの事故も、この少年が起こしたのだ」

「落ち着いて下さい、教授」
「大丈夫ですよ、この少年にはいづれ償いはさせます。ただ今回の実験の失敗は、あなたにも責任があると言いたい
のです」
「教授、あの娘が選んだ少年です。きっと彼にも何か、何かあるはずですよ」

■MENARCHEー真由美1st

真由美1stは植物人間化した母体から生まれた。そのためかどうかは解らないが、彼女の脳機能は脆弱でとても満足に真由美という存在を維持できなかった。当時、コンピュータと神経細胞に関する研究の第一人者だったウェズマは脳内で代替できるプログラム **Cerebral Program** を開発し、それを真由美の中に入れることに成功した。

このプログラムが後に **MJP** へと発展してゆくことになるが、それは別の話である。

生まれたときから彼女はすでに実験動物だった。ウェズマに身体をいじくられ、性的イタズラもされた。小学校4年生で、処女を失っている。

そんな彼女は自分の居場所を求め続ける。もちろん、それがウェズマのもとであることは知っていたが、それだけでは納得がいかなかった。保育園の中で、学校の中で、彼女は自分を容認してくれる場所を見つけようとした。そんな中で、植物人間の母親と一緒にいるのが何よりの幸福だった。

母とコミュニケーションがとれるようになったのは、小学校2年生の時。真由美の言葉にわずかながらに脳波が反応を示す。これが母と娘のコミュニケーションだった。真由美は、母の手を握って今日起きたこと、思ったこと、思い出、他愛もないことをしゃべり続けた。真由美が話し終わると、脳波が微妙に動くのである。それは真由美にとっての喜びでもあった。母の枕元の椅子こそが、彼女の居場所だったのである。

小学校4年生の時、ウェズマと母が交わっているのを目撃する。なんの反応も示さない母を陵辱するが、真由美1stは母親の脳波の変化を見逃さなかった。自分が話しかけるよりも大きく、その脳は動いていた。自分の居場所が一気に奪われたようなそんな錯覚に陥り、彼女はウェズマが去ったあと、母の身体を玩んでから殺した。そしてその夜、彼女はウェズマに体を許す。

それから真由美の新しい居場所探しがはじまる。

成績が良ければ、きっと先生に相手にされる。

ファミコンの裏技をたくさん知っていたら、チャホヤされるかも……？

男の人なら、この身体を捧げれば……。

人を殺したのは、小学校6年生の時。同級生たちにレイプされた夏の夜、建設現場で一人の男の子を殺す夢を見た。学校へ行くのが怖かった。行きたくなかった。結局、それから卒業するまで一度も学校へは行かなかった。毎日毎日、ウェズマに慰めてもらった。身体がすり切れるくらい……。^{*7}

結局、自分はウェズマに抱かれているのが、一番の居場所なのだ。

4月、中学校入学。引っ越した。新しい学校。新しい制服。知らない街……。

もう一度、もう一度自分の居場所を探してみようと思う……。

*5 つまり、**XINN**。

*6 薫の学校に引っ越してきた理由は、これだったと思われる。

*7 未来や過去に何らかの影響を与えることが出来るようになったのは、おそらく **CP** にせいであると思われる。が、果たしてそれがそのような能力だったのか、真由美1stの妄想や夢がたまたま現実の一致してしまっただけなのかは、不明のままである。

■Dup.-真由美2nd

真由美2ndは薫の娘であり、また真由美1stである。

薫によって殺された真由美1stはウェズマの手によって保存された。このとき真由美1stは妊娠しており、ウェズマはその赤子を培養することに成功した。それからウェズマは一心に脳を復活させる方法を模索する。彼の手元には CP があつたし研究材料は揃っていた。そしてもっと発展させた CP によって真由美1stの脳を生き返らすことが可能だと考えた。

しかしながら、完全に死んでしまった脳を活性化させることは不可能だった。しかし真由美1stのニューロ ネットワークを壊してはならない。壊してしまつては、今までの研究がバアになるし、真由美1stの持っていた不思議な能力も失われてしまうかも知れない。

結局彼は真由美1stと薫の娘の脳を利用することに決めた。真由美1stのネットワーク データを出来る限り網羅し、脳そのものをそっくり入れ替えたのである。そして、あらかじめ取得しておいたネットワーク データを別プログラムによって入力する。こうして真由美2ndが完成し、ニューロ ネットワークをコピーするプログラム MJP がすでに存在していたのである。

真由美2ndはコードネーム【ダップ】を受け、この世にデビューする。

しかしながらウェズマが期待したパフォーマンスを、Dup は出すことができなかった。

■ウェズマの求めているもの&MJP

大原則としてウェズマの求めていることは、3+1次元の制限を越えることである。そして次元を超え時間を超え、空間を超えて、妻を取り戻したかったのである。彼の妻は彼自身の過ちによって植物人間と化した。彼の一連の病的なまでの研究への固執は、最愛なる妻を取り戻す一心から出たものである。

彼は医者ではなかったので、脳に関する知識をあまり持ち合わせていなかった。むしろ、演算回路の一つの形態であると彼は認識した。彼が CP なる脳内で活動するプログラムを発案したのは自然の流れだったのである。数々の動物実験の末、CP はほぼ完璧に動作することが解つた。そこで彼は人間の脳へとステップをあげる。そのときの実験体となったのが奇跡的に植物人間から生まれてきた真由美（1st）だった。と言うよりも、真由美自身も CP がなければおそらく死んでいたであろう。彼女もまた、脳細胞に障害を持っていたからである。

CP によって正常体となった彼女は、ウェズマの実験動物として生きて行くわけであるが、これは同時に妻の代わりでもあつた。ウェズマは真由美1stと妻をオーバーラップさせ、妻であるかのように振る舞わせた。しかし真由美1stはそれを拒否し続け、ウェズマはますます妻への思いを深めてしまった。

CP ではまだすべての脳機能を代替することは不可能だった。そのためにもウェズマは全脳細胞を代替できるシステムの開発に夢中だった。しかしその途中で彼の妻は真由美1stによって殺害される。事件は極秘裏に片付けられ、その代償として、CP の存在が世間に（正確には CIA）知られることになった。

無からの人の再生へと CP の課せられた使命はシフトする。

その後、真由美1stが変な能力を身につけたりするようになり、次第に CP が成長するプログラムであることをウェズマは認識し始めた。ウェズマはこの成長した CP を何とか取り出せないかと考え、ニューロ ネットワークをコピーするプログラムを開発する。

そして真由美1stの CP をコピーし、真由美1stの中で形成されたこの新しいプログラムを解析することに成功した。

そうして新しく出来上がったシステムを **MJP** と名付け、記憶からニューロ ネットワークを形成するプログラムにまで至るのである。

ウェズマは早い時期から **XINN** 現象に気付いていた。と言うのも、**XINN** 現象はウェズマのコンピュータでは時々起こってしまう現象だったからだ。**XINN** を早とちりしたウェズマはこれを巨大な意識体と考え（まあ間違っ
てはいないのか）、別次元からの干渉だとらえた（この辺が間違えている）。

XINN 現象が巨大化し、やがて来るであろう自分と **XINN** の融合を夢見て、**MJP** の開発はさらに進むことになる。しかしそれはただ単に、真由美1stが父であるウェズマのコンピュータを訪れたに過ぎないのであり、巨大化した意識とは真由美1stの意識が止めどなく拡大し、地球サイズになってしまっただけのことであった。

■**ダイン**と陸軍と**CIA**と

日本デジタル デマンド社社長ダイン ワイズマンは陸軍の将校クラスだった。しかし、情報漏洩の咎で陸軍を追われている。過去、ファームの実験にも関わっていた。これはコンピュータと脳をリンクするための初歩的な実験だが、数人の脳死者を出してしまっている。

もともと情報系の仕事をしていた彼女は官公庁をウロウロしていたが、デジタル デマンドの技術顧問として雇われる。もともと商才があったらしく、彼女のプロジェクトはことごとく成功する。何年か実績を次いだあと、日本デジタル デマンド社の社長に就任する。またこの頃から **CIA** と関わり始め、様々な裏ルート^{シャドウ}を築きあげる。そして **CIA** がこのルートを利用した闇取引組織【**神影**】を作り上げ、彼女はその首領に収まる。このことが聖香に知れ、強請られる元となってしまった。

昔ファームで実験した脳とコンピュータの接続に関して今でも深い関心を持っており、**IHI** / **CIA** からの仕事を請け負ったのもそのためだと思われる。

■**真人京子**とその店

秋葉原にジャンク屋【**機械屋**】^{はたかせや}を営む変な女性。**B.HAREM** の一人【誰かは未定】。モデルのような細身が特徴で、その振る舞いはしなやかかつ知的な感じを受ける。

HAREM 側にどのような意図があったのかは解らないが、彼女の降臨によって次元航行の技術がある程度地球にもたらされたことになる。また、ゲームを解き終わったあと、さらにゲームを続けることができるのだが、その時に彼女の店に踏み入れれば、【**KAEDE-MEMO**】^{かえでメモ}が見つかる。また、彼女のコンピュータの中には解き明かせなかった様々な謎が入っていることだろう。

彼女が経営する店は基本的にジャンク屋兼パーツショップ。所狭しと売りモンだかゴミだか区別の付かない部品がいっぱい並んでいる。商品の大半は自分の職場である日本デジタル デマンドで要らなくなったものばかり。それでも試作品のCPUやβバージョンで破棄された幻のソフトウェアなんか大量に置いてある。

ハッカーやオタク達の間ではかなり有名な店らしい。

■**御子神** ^{ましろ}**衛**

*8 瀕死のショックで脳細胞が全て生きていたとは考えられない。よって主人公の全てを受け継いだかどうかは甚だ怪しい。

衛は若干??歳。冒険好きでエキサイティングなことが大好き。それを夢見てろくに学校も行かずに警察に飛び込んで刑事を目指す。無駄な検挙数は1年で100件以上。成績優秀と言われ、刑事行きを保証されるもなぜか公安部に。しかし未だに刑事部への夢は飽きられていないとか。

公安部でやっていることはもっぱらいやらしい盗聴やら情報収集やらで、カウンター エスピオナーシ対情報収集工作に徹していた。派手好きで彼女はそんな陰々滅々とした仕事に嫌気がさしていたが、兄のカウンター インテリジェンス対情報工作に興味を持ちライオットをうまく使って、派手に華麗に事件を解決する方法を思いつく。しかしながら、物損が極めて大きく上司には嫌われている。彼女の能力は高く評価されているが、頻発して登用したくはないらしい。

■御子神 まもる衛 vs SHADOW

衛たち公安部機動捜査課はある麻薬組織を追って、有明の廃ビルを襲撃する。

3時間にわたる銃撃戦の末、犯人は全員射殺、衛たちは麻薬密造現場を押さえる。また、別の部屋には売春用の女子供を含めた5体の死体が発見される。警察当局はこの麻薬密造組織が一過性のものではないと判断し、衛たちに引き続き捜査を続行するように指示する。

衛は都内数カ所のアジトを発見し、そのうちの一つは、薫の捜査対象とブッキングする。

薫と共同して襲撃したアジトには今までよりもはるかに多い14体の死体が見つかる。捜査はいよいよ佳境かと思われた段階で、衛の方は上層部からの圧力で捜査を中止され衛は別の事件をあてがわれる。衛は不服として捜査を続行するが、謹慎処分を受ける。

謹慎が晴れた衛は、あてがわれた別の事件を片付けながらも、薫にいろいろ協力を求めながらもこの正体不明の麻薬組織を追うことになる。そして最終的に麻薬そのものはただのLSDであり、脳の幻覚作用を利用して何らかの脳細胞の改変を行う新種のドラッグであることを突き止める。

衛はついに、SHADOW……ドラッグを提供している巨大組織の存在にぶち当たる。

SHADOWの根城であると思われる洋上にうち捨てられた旧デジタルデマンドの研究施設に、衛は強行機動部隊【ライオット】を率いて降り立つ。しかしその中ではすでに薫がウェズマと対峙している状況だったのである。

■御子神 かおる薫

名門、御子神家出身。奈良/平安の貴族の血を引き継いでいるらしい*9。

帝謀に入ったのも、そのために本気かどうかは解らないが、天皇をお守りするためという意図があったらしい。ただ本人は全然気取っておらず、普通に仕事をしている。逆に妹は女の子と言うこともあって、あまり大事にされず、普通に育てられた(ただし、しつけは厳しかったらしいが)。

彼は幼少のころ下界と遮断されて育てられたため、退屈な毎日を送ったらしい。そんなとき真由美と出会ったわけだが、その時のことをあまり覚えていない。

■高階 たかしなユリ

ユリの出生については、CIAが情報操作をしてしまったので、その詳細は不明。

*9 ただし、御子神と言う名字は天皇守護の姓として存在しない。実際は違ったと思われる。

彼女は帝諜を監視するための中国のエージェントで、^{リリアン}LILIUM の暗号名を持つ。

ユリはコンクリートとコンピュータのガレキの中で育った。父も母も知らない。ただ解っているのは【ユリ】と言う名前だけ^{*10}。彼女はゴミための中で乞食^{*11}に育てられた。この乞食というのがガラクタ好きで、ユリにオモチャを買ってやれなかった彼はガレキの中からコンピュータを作ってやった。

彼女は世界に疑問を抱いていた。なぜ両親は自分をここに捨てたのか？ 世界はどうなっているのか？ 誰がいるのか？ 自分はなぜ産み落とされたのか？ ユリはコンピュータのネットワークを通して無尽蔵にあふれる情報を貪るように読みあさった。いつの間にか最新の論文を読破し、自分でもプログラミングできるようになっていた。

いつしか自他共に認める一流のバイナリ プローカーになっていた。

16の時には自分で居を構えるようにまで潤った^{*12}。そんな彼女の腕を頼って、中国が近づいてきた。

はじめは情報屋気取りだった。しかし、自分のもたらず情報が人を殺すことに使われていることを知ったとき、ユリの中で何かが変わった。自分はなぜ産み落とされたのか？ 自分はなぜ他人を殺しているのか？

そんなとき、薫に出会う。

■多岐川 加奈子

良家の出で、実家から帝諜に通っているのは彼女だけである。

もともと上級国家試験をパスして帝諜に配属となっており、次期局長クラスが期待されているのだがいかんせん性格が向いていない。シビアな駆け引きやハッターリが全く出来ないのだ。そんなおり、ある任務で保護すべき人間が暗殺されるという大失態をやらかして、第一線から退いた。

その後オフィスでデータ収集をするかたわら何か役立ちたいと思い狙撃のカリキュラムに自主出席し、その持てる能力を開花させた^{*13}。記録では帝諜No.1の実力を持ち、帝諜秘蔵っ子の一人になる。その後も警察の要請で出動するなどの活動はあったが、基本的にオフィス勤務は変わっていないようだ。

最近東京に配属され、そこで薫と出会い、ときめきモードになっているらしい。

■山下 聖香

コンピュータ マガジン【^{ていしきぎき}程式技術】の記者兼編集者。かなりハッカー/クラッカー入っている粕取り雑誌で、カルト色が強い。もともと編集長がかなりのオタク&クラッカーらしい。^{きよか}聖香自身はもともと出版社にいたようだが、ネットワーク犯罪を追っているうちにこのようなインディーズ系の記者にまでなってしまったようだ。

もっとも彼女のやっていることはほとんどクラッカーやバイナリ プローカー達とやってることは変わっていない。大手企業の顧客データ売却をはじめかなり汚い商売もやっているようである。そのためか、目の敵にするヤツも多いが、同業者のコネクションも強い。薫やユリの貴重な情報源ともなっている。

今回、XINNに強い関心を抱き、その全貌解明に全力を注いでいる。

頭は決していい方ではなく、人間的にかなりの小物。ただ奸智や状況判断が他人より優れているために、こま

*10 高階という姓は乞食が付けたらしいが、その由来は解っていない……。だって、思いつかなかったんだも〜ん!

*11 この乞食というのは、真人京子。彼女がユリを天才にした。

*12 ユリを育てた乞食は、ユリが10歳の時になくなっている。

*13 くそまじめでバカ正直な性格が功を奏したのかも知れない。

でのりくらりとやってこれたのだろう。忠誠心や義理、人情などと言う言葉は彼女の辞書にはなく、強いものには媚びるし、金には弱い結構イヤなヤツである。

作中では、ダイン ワイズマンと神影^{シヤドワ}との関係を知り、ダインを強請っている。ダインは L-MJP を試す意味でもわざと彼女に金と麻薬 (L-MJP) を渡していた。

■ 会話やメモ……

アリスのこと……

☆アリスの多重人格現象

☆アリスが、薫のセイフハウスに逃げ込んでくる

☆欠陥品ですな、アリスは。一度バラして組み直した方が／彼女は何かに目醒めようとしているのです。
それが……。

山下聖香のこと……

☆自分が信じられないんだあ……

今見ているのは、誰かって……

この業界にいるとサ、何かと不信感高まっちゃ生んだよね～

だったら。ぜ～んぶウソにしちゃえってね

——それで、クスリ始めちゃった。不安なんだよね、毎日が。

コイツね、新種なんだけどスッゴク気持ちイイの。

いつ死んでも後悔しないようにね。

アリス

☆夢を見てしまいました。なんと、子供の薫さんが出て来るんです。

恋をするんです。

なぜ恋って解るんだ？

恋と好きは、私のバロメータに違いがあるんです。

大好きって言い切れるのは、好き。

大好きなはずなのに、それが言い出せないのが、恋なんです。

このとき私の中には嫌いの要素が入っているんです。

こういう時って不思議な気持ちです。胸が興奮して、でもキューって絞まるようにきつくなって……

だから、大好きなんだけど大嫌い。それが私の恋なんです。

私、そう言う人と結婚したいです。

俺のことはどう思う？

————…ポッ

————大好きです。

————エヘヘ、秘密です。

☆薫さん……わたし……いえ、なんでもないです。

薫さん、もしわたしがいなくなったら、どうしますか？

何てことを、さっき考えてしまいました。わたしって、変ですか？

薫さん、デジャヴって信じます、か？ わたし、以前に薫さんに出会ったことがあるって……

そんな気がするんです。

でも、わたしは……ロボットですから。

薫さんはわたしと同じです。だって、プログラムで笑ってますもの。

心から、笑うってなんでしょうね。本当に自然に笑うことなのでしょうね？

でもわたしも、わたしも、笑うときは自然に笑っているんですよ。理由が解らないけど、何故か顔がほころんで、そして笑うんです。これって、プログラムじゃないですよ。

わたしは、薫さんがいなくなったら、すごく怖いんです。次の日が来ないんじゃないかって。

薫さんがいなくなっちゃったら、わたしは解体されて、もう用済みになっちゃうのかも知れない。そして、目が覚めたら薫さんのことなんか憶えてもいなくて……そう考えると、すごく怖いんです。

薫さん？ わたし本当は……本当は……

一度でいいから、薫さんの胸に寄掛かりたかった……。

真由美1st

☆神→コウ／ジン

☆人は神と葛藤してきた。

歴代の哲学者は学問としての存在を彼らなりに導き出した。
でも私たちもまた、勝手な哲学を作り出している。
何故か→その理由がないと私たちは生きている理由を失い、精神肉体ともに分散してしまうから。
一細胞の哲学／一個体としての哲学→いずれもそれを文章化したのが哲学
しかしこれは同時に、神【コウ】との戦いでもある。
永きに渡り支配していた神と、進化の間の溝は未だに深い。何故私は生まれたのか、必然か？ 偶然か？
——一言、私に言ってくれば良かった。私を待っていたと……。
そうすれば、どんなに楽なことか？
私が私でいるための理由は、私が作るのではなく、周囲によって必然にならなければならない。
しかしもし私が神へと近づくならば、私が私でいる理由は、私の中で完結し、閉じていてもかまわない。
神が人を超えた存在と定義するなら、いくらかの可能性で、ボクは人を超える余地を持っている。たとえば、二人分の情報を得ることだ。二つあったら、そこから導き出される思考は、人と異なる。場合によっては、人よりも優れた判断、優れた視点を持つかも知れない。これは新しい進化だ。何も身体が変わらなくとも、僕らはより優れた生命体へとステップ アップすることが出来るんだ。
これは、神とはほど遠いが、人よりは高い次元へとステップをあげるから、せめて【コウ】とか【ジン】とかそうよぶのはどうだろう？
え？ 解ってるよ。君はこんな話つまらないよね。
でもボクは、今すごく切迫してるんだ。
ゴメン
気にしないで
それよりもそろそろ時間だ、閉館の準備をしよう。
☆今、見たね？
ボクの……。少しは欲情したかい？
じゃ、しようよ。それが、ボクのボクでいるための理由になるかも知れない……。
☆より高い次元への移動^{*14}とは何か？ 人がオロカだというが、それを超越することが、高次への移動なのか？ たとえばいくつかの高次理論では、人の解決を定義していないが、次元を超えるという意味ではボクたちの存在に関しても新しい解答を出してくれている。
ボクが何をしたいかって？
そんなたいそうなモンじゃない。
ボクは、その先が見たいんだ。ボクがボクであり続ける先を。
漠然としているかも知れないけど、ボクはそうしないともう生きていけないんだ。
☆僕らは中心であるべき何だ。だって僕らは僕らだもの、当然さ。命は大事だよ、出も僕らは僕らである以上、僕らの命がもっとも尊い。

ユリ (パラレル)

☆ユリとぶつかる。
ユリのぶーたれる顔を見て、とっさに彼女の名を思い浮かべる。
ユリはさっさと行こうとする。それを薰るが呼び止める。
「ユリ！！」
あら？ どっかで会ったかしら。
いやっないか……。
じゃあ何故私の名前を？
いやっ、キミの顔を見たら、その名前が浮かんできて、
それがあまりにもピッタリだったんで、つい声に出してしまった。
ははーん、ナンパね？ 私に欲情したんだ。
いや、それは……。
そうね～、ルックスもいいし、背も高いし、声もイイ感じ。ちょっと頼りなさそうだけど……。
いいわ、少しなら付き合っただけよ？

真人京子の出会い方 (パラレル)

自分のパソコンのパーツが壊れた。
秋葉原に向かう→造機を見付ける→真人京子に会う

*14 移項？ 移行？ 昇華？

CIA

中央情報局に関する設定とメモランダム

■CIA&MJ-MAYUMI

CIAの一連のMKシリーズは、薬物による精神コントロールの実験名である。

インターネットをはじめとする様々なオープンなシステムは情報部にとってはめんどくさい存在のナニモノでもなかった。もともとの発想は、このネットワークを使って直接人に会わずに情報が引き出せないかというものだった。CIAは昨今の進歩したMMIに目を付け、コンピュータと神経細胞さえリンクされているならば、そこから情報を引き出したり、場合によっては暗殺まですることが可能ではないかと考えた。

さすがESP研究にまで手を出すCIA、このプロジェクトはすぐに受理され模索が開始された。下請けには有名ソフトウェアメーカーや研究所、大学が選ばれ、その中にDigital Demand, Japanが含まれているのである。そして、CIAはウエズマの存在を見つけ、MJ-MAYUMIのプロジェクトが生まれたのである。

■神影-SHADOW-

神影は、CIAが後ろで手を引く麻薬組織である。が、CIA→ユダヤ資本→アメリカ系マフィア→東南アジア→暴力団とCIAに至るまでのペールは多く、厚い。現に衛はCIAにまで行き着くことはできなかった^{*15}。せいぜい東南アジア止まりである。

新種のドラッグ【NINE HEAVEN^{ナインヘヴン}】は実はMJPを脳に移植するためのドラッグである^{*16}。コレもまたCIAが開発に当たらせてたもので、プログラムを電子的ではなく他の媒体を通して伝達する方法の一つである。しかし直接脳に作用させるのは難しく、このように向神経薬として調合し、LSDなどのアップパー系/幻覚系の麻薬と併用しなければならない。

仕組みは神経細胞に与える微弱な刺激がプログラムされている向神経薬で、非常に初歩的なMJPを脳内に入れることができる。このMJPにはいくつかの細工がしてあり、LSD以上の中毒性を起こすようプログラミングされている。こうして、次から次へとMJPを取り込むことによって、脳内で一つのMJPが完成する。

つまり、この麻薬は注入する順番が決まっているのである^{*17}。

MJPを構成するための全てのプログラムが揃うと、依存性はなくなる。この段階で普通の人間に戻れるが、LSDなど向神経薬を使用するため、そっちの依存症が出てしまう傾向が強い(あたりまえか……)。

■別の暗殺事件

CIAはマシー スペクター暗殺のようなことを、中国でも行っていた。中国の香港行政区に潜伏していたと思われる神影のエージェントを国家安全部と共同で暗殺している。暗殺されたのは通称ポインター、本名ライマン^{シャドウ} ????と言う男で、MJPであったと思われる。容疑などは今となっては解らないが、CIAは特定のMJPを暗殺することに躍起になっていたようである。

*15 すべての事件解決後、全容は薫から聞かされたであろうが……。

*16 このようなMJPをL-MJPと呼ぶ。ウエズマやCIA組織内では、単にリキッドとかイサーと呼ばれることもあったようである。

*17 ヴァージョンにより差異があるが、後期型はどれを入れても接種し続ける限り、MJPが完成するものもあったようである。

■CIAの失敗

本物語り中ではすでに CIA は MJP についてのほとんどの研究を諦めていた。と言うのも、MJP は人間と同じように制御不可能なものであるという結論に達したからである。結局、脳の中に入ってしまうえばそこで行われる思考活動は人間であり、MJP もまたより高度になるとは言えその人間の行動原理に基づいたバージョン アップなワケで、そうになってしまうと MJP を使うわけにはいかないのである。

CIA は直ちに MJP を削除し、それをネットワーク上からも削除するよう動き始めた。香港で起こった^{Shadow}神影エージェント暗殺もその一つであったし、マシー スペクター暗殺もそうであった。しかし CIA が行動するよりも早く MJP はネットワーク内に浸透してしまった。そして MJP 自身がコピーされあらゆる人の中に入って行く。

逆に MJP は自分たちを消そうとする CIA に対して報復する。ユリの暗殺、情報本部長の暗殺、マシー スペクターによる CIA エージェントの爆殺、大伴利信の暗殺、CIA 上層部の暗殺などは全て MJP の報復である。結局 CIA は情報隠蔽工作^{*18}と、対 MJP に躍起になるのであった。

U.S.ARMY&DoD

国防総省の特に陸軍に関するメモランダム

■米陸軍の介入

CIA とほぼ同じ着想を得ていたのは、陸軍の兵器開発局だった。戦争の危険性が薄れた国防総省はそのデカイ図体を持て余していた。陸軍は新しい戦争ビジネスを模索しており、その中の一つに戦闘用義肢の整備があった。そこで研究されていたのがまさに脳とコンピュータのMMIで、肢体を動かす感覚がそのまま義肢に反映されるシステムを開発しようとした。陸軍は、大手工業メーカーに義肢開発の指示を出し、その中に IHI があった。IHI はOSに相当する部分の開発を日本デジタル デマンド社に発注。日本デジタル デマンドの社長、ダイン ワイズマンは同じようなプログラム開発をしていたウェズマに仕事をまわした。

ソフトウェアを導入することによって、義肢は新たな可能性を提示した。それは義肢の学習機能である。義肢と陸軍のホストコンピュータを連結し、義肢から送られてくる学習データを蓄積し、同じ義肢でもより性能の高い義肢を新たに提供することができる^{*19}。そのために、陸軍はまだまだ発展途上にある重力波通信システムを導入する。

各社から試作品が完成し、その試用が開始される。IHI が開発した義肢は、陸軍から日本自衛隊情報部へと貸し出された。メンテナンスは、IHI と日本デジタル デマンド社が行うこととなる。

同時に陸軍はコンピュータと脳という関係に着目し、精神兵器なるものを考案した。これはコンピュータ側から特殊な情報を送り、神経細胞とリンクしている者にダメージを与える兵器で、CIA と多分にブッキングするものであった。ただネットワークを使用するかどうかについてはあまり考えられておらず、むしろ前述のような義肢等をつけている者に対する攻撃方法の一つであったと思われる。

*18 その一環として、可奈子暗殺があった。

*19 義肢からおくられてくるデータには、それを使っている者のクセとかもあって、100%のデータが有効なわけではない。

■CIA vs 米陸軍

CIA は一連の兵器開発局の行動に気付き、目を光らせることになる。

ここでまたもや国防総省と CIA の軋轢が生まれる。結局ここから発展することは、CIA と米陸軍の両方の研究素材であるアリスの奪い合いになる。

CIA との間で殺し合いまで起こる？ まあそれはともかく、衛が機動部隊を率いて突入するのに、米陸軍が混じっててもいいかもね。その辺は演出もかねる程度のもの。

■CIA折れる

結局 CIA はアリスの回収を陸軍に譲るのである。

主な理由は **MJP** の利用価値がないことである。したがってアリスを回収してもなんの役にも立たないと確信した。ただ、陸軍のホストにはアリスがとらえた **MJP** マスターがあるため²⁰、それとの交換という形で取引は成立した。陸軍は早急に旧東京国際空港への突入作戦を開始し、**RIOT** よりも先にウェズマのラボに突入する。

また CIA は、ウェズマの暗殺も陸軍に依頼する。場合によっては、アリスの脳/小脳の破壊及び、薫の殺害の必要性も指摘している。

ENTERPRISES

各企業/組織に関する設定とメモランダム

■デジタル・デマンド社

Digital Demand Co.,Ltd. 【Demand=必要とする, 要求する】

モデルは、Sun Microsystems。コンピュータ ハードメーカーとしてはあまり広く知られていないが、WWW 構築、リアルタイムOSの基礎、UNIX の整備/保守、官公庁のデジタル化事業、ネットワーク産業の根幹をになってきたいわゆる縁の下の力持ち的存在。

まあ上記のことはともかく、本物語では CIA のゲート プログラムに関する研究開発を依頼される。ゲート プログラムはその後 **MJP** へと名前が変わり、デジタル デマンド社内で本格的に研究されて行くことになる。もちろん、ゲート プログラムのコンセプトを持つ研究、開発は他の機関でも行われており、この物語はそのうちの一つ、**MJP** がもたらした経過と結果である。

コレとは別に、**IHI** から義体のソフトウェア開発に関する依頼が来る。デジタル デマンド社の兵器プログラミング開発部門は **IHI** と共同で戦闘用義体の組織的運用体系をまとめる。米陸軍はコレを承認し、実用化に向けての研究開発を引き続き行うよう指示した。

さらに本物語にはあまり関係しないが、デジタル デマンド社はその他各種兵器に搭載されるコンピュータの設計、ソフトウェア開発もおこなっている。

デジタル デマンド社自体はアメリカの会社である。今回、その日本支社が舞台となっている。したがって正式には、Digital Demand, Japan である。ちなみにデジタル デマンド社は、もともとは Lay=Alld のエルフのコンピュ

*20 物語冒頭、アリスがマシー・スペクターのアタッシュケースの中身をトレースしたときのデータ。

一タ会社。京都恋愛慕情にちょこっと出てくる。

■石川島播磨重工業株式会社

Ishikawajima-Harima Heavy Industries Co., Ltd.

アリスの機械化部分を製造、メンテナンスしている会社。実名はやっぴりまずいだろうか……？ でもこれ以上格好イイ名前ってないよなあ……。米陸軍の新コンセプト兵器計画に基づき、義体の開発を依頼された。脳接などの技術を一新し、感覚で使用できる義肢の製造を目指す。また、義肢の二次的利用、バージョン アップを可能とするため一部をソフトウェア化。そのソフトウェア部分を兵器プログラミングとしても定評のあるデジタル デマンド社に依頼する。

精神兵器の可能性を見だし、対義肢用の兵器としてこれも米陸軍に提供する。

■Metropolis TOKIO

設定上、一度崩壊したことになっている。^{つばき}山茶がヴァルアの仕掛けた核を吹っ飛ばしたおかげで、東京は壊滅状態となる。それから復旧がはじまり、遷都計画などがおこなわれ本ゲームの東京になる。

都市部はインテリジェント化を目指した最新の設備で整えられてはいるものの旧東京に無理矢理街を作ったのであまり美しくない。インフラとして、上下水道／電気／電話／道路／鉄道などの他に、各家庭への高速デジタル回線、専用線の設置も含まれており、地下貯水浄水場なども建設されている。

また社会適合者と不適合者の層がほぼ完全に別れており、都市構造自体もまるで二分するかのようになっている。^エ似非スラムや、社会生活になじめないアウト ロー達は旧市街に主にすんでおり、通常的一般市民や金持ち階層は上層へと移行しつつある。旧市街（下層）は上層の建設が進むにしたがって日の当たらない場所が増えており、ますます陰惨化が進んでいる。

■東京国際空港【IHI製品試験場】

半壊し、沈みかけた空港。

ここは IHI の兵器実験場でもあり、デジタル デマンド社にも貸し出されている。東京湾上に浮かんでいる。

広さは、2072ヘクタール。4000m級滑走路を備える。

この中にウェズマのラボがあり、また真由美1stが死んだ場所でもある。ここの地下ケーブルと真由美1stが融合し、最初の MJP がネットワーク内に流れた。これがやがて XINN になってゆくのである。

内部構造は、建築当時のものがそのまま残っているが、警備ロボットやシステムが実験のため執拗なまでに配備されている。これらのシステムはまだ実験途中にあるため、致死性のものも少なくない。ここの職員達が身につけている照合証で見分けているらしい。ほかにも軍事目的で製作されたあらゆるガラクタがここに眠っている。米軍や RIOT が苦戦を強いられたのはそのためである。

■日本デジタル・デマンド研究所

もともとは **IHI** が所有していた重力波検出装置。新しい通信手段の開発の一環として建造され、世界に貸し出された。インターネットを通じて、各国大学、軍関係のコンピュータがダイレクトに接続されている。真由美1stがネットワークに逃げ込んだ場所でもある。

現在では日本デジタル デマンドが **IHI** より借りている。**IHI** のプログラム受注のほかにもレーザー実験装置の公共の場として利用されているようだ。ここの管理をずっとウェズマは任されており、もともと **CIA** や軍事開発の一端をになっていた。

ウェズマはこのレーザー装置にすべての回線を接続し、足りなかった分はアリスの身体に直接接続した。アリスの四肢に伝わる神経細胞のすべてはネットワークと結合され、世界中のコンピュータとアリスが一つとなる。

KAEDE-NOTES

KAEDE-NOTESに関する設定とメモランダム

■概要

KAEDE-NOTES はゲーム終了後、造機で発見できる真人京子のメモランダムである。内容は **B.HAREM** が何らかの研究を行い、その結果について記されている。その真相はこうだ……。

まず、本物語は **Vein Void** の第2部に相当している。宇宙は二分されており、ヴァルアは行方不明という状態で、山茶がヴァルア搜索に宇宙をかけずり回っている状態である。それとは別にハーレム、そしてブラック ハーレムたちが独自にヴァルア搜索活動に乗り出していた。

時代的には、**BAD ANIMALS II** という物語の直後である。

真人京子は **B.HAREM** の〇〇〇〇に相当するキャラクタである。

B.HAREM はヴァルアがいくつかの人格に分かれて存在していることを突き止めていた。しかし宇宙中の人間を調べるわけには人為的に不可能である。そこで、当たりを付けて探す連中と自己をより高い視点を持った存在に引き上げる連中とに分かれて活動する事となる。この時点で、**B.HAREM** は **HAREM** と接触することとなる。

真人京子は **HAREM/B.HAREM** の個々の能力を高めるための研究と、ヴァルアが潜伏している精神体の構成について研究しようとした。次元航行という単純に次元を超える理論を脳神経系の世界に導入し、自分たちの存在を格上げしようとしたが、結果は本物語りの通りである。

彼女はウェズマの妻として存在し、自分の式やあらゆる研究をウェズマを通して行い、ついに人間のデジタル化に成功する。しかしながらこのデジタル思考体は思うように動作せず、結局彼女はさっさともとの肉体に戻ってその娘である真由美1stを素材として利用するのである。

これら一連のレポートが **KAEDE-NOTES** である。

■KAEDE-NOTES

かねてよりの疑問のうち、その一つの解答を明確にするためにこのレポートはある。

大いなる力を失った我々に道を示すものではなく、結果として我々が道を示さねばならないのである。

あの方は、今どこにおられるのだろうか？

かねてよりの疑問のうち、その一つの解答を得るためにこのレポートはある。

我々は、人なのか……？

精神を一次配列にすることは可能でも、それを継続することは困難であった。

いくつかの式は間違っている。

———まず変換式と、持続性を再検討しなければならない。

私はウェズマの中に私なりの式を入れてみた。

私はそれを体験したが、結果は私のオリジナルを破壊するに終わった。

かの方が一体どのようにして我々を実現したのかは、本レポート内でも不明のままである。

ウェズマの手により、私は一次元の身体を持ち、それでいて人より優れた思念を持つに至ったが、オリジナルとそう変わったものではなかったように思える。したがって、より低次の存在を一次に変換するために、自分の娘を使った。彼女は多くのオリジナルを失ったが、私を遙かに凌ぐ思念を得た。

しかしこれは、ただの人間の欺瞞^{*21}である！

私は私であり、存在として私を超えることは出来ないようだ。これが一つの事実であり結果としてあの方を呼び出すことは出来ないと言う事実が残る。しかしながら他の生物はその存在を超え我々に近づくことが出来る。今後の方向性の一つとしてこの道は有用である。

■KAEDE-NOTESを発見した場合

次元シフトは可。

パラレルワールドは XINN の夢の中ではなく、次元移動による完全な空間転移であった。

MECH.

メカ設定&アリス達の装備等/その他超自己満足的設定

■Body of Alice

アリスの義肢は IHI 製。オフENSE システム^{*22}はついておらず、基本的に戦闘支援のみ。GPS/MCSS^{*23}と脳のバイパス リンク、肉体強化が主な機能。防御支援機構として自爆、切り離し、^{バースト}弾幕、^{デタッチ}自動照準、^{パレージ}自動掃射、^{エイマー}温度遮断、^{スウィープ}衝撃吸収、体重変化^{*24}、スタンガン、ガス射出を備えている。また何種類かのコンピュータとのコネクタを持っている。これはつまり今で言うならば、SCSIやキーボード コネクタに直接接続し、脳からの電気信号をコンピュータに変換し、コンピュータと相互にデータのやりとりを可能にするものである。

また実験段階ではあるが重力波通信を装備しており、使用時間が限定されるものの盗聴防止、電磁波の使えない場所での機能維持が可能となっている。

彼女の義肢は米軍が IHI に発注した製品で、アメリカ陸軍を経由して自衛隊へ納入された。価格は通常の義肢の

*21 人間の欺瞞とは何か!?

*22 もっとも、義肢を鈍器として使うことは可能だが……。

*23 *Mutual Communication Satellite System* の略。相互衛星通信システム。

*24 ただし、自重より軽くなることはない。重力制御の技術はまだない。

100倍強。よりスムーズな脳とのバイパス、違和感を感じさせない人工神経、負荷の少ない筋力の増強がはかられている。戦闘用義肢としては特殊部隊級の高級品。ただし、製造番号0番のテスト品。

欠点としてメンテナンスフリーではない、エネルギー切れが起きやすい、神経との結合素子の欠陥で脳障害または拒絶反応を起こす危険性がある、高周波ノイズによる誤動作、自己修復能力に欠陥などが挙げられている。最近ではエネルギーに関しては衛星からの電源供給が可能になり、半永久的な活動が可能となっている。

■ALICE 携行品



アリスのダッフルは以下の通り。上から順に、標準／強襲／抑止／隠密／狙撃。

Normal	小型SMG【50／5】	拳銃2丁【16／2】	ナイフ
Assault	小銃【30／4】	拳銃【16／5】	銃剣 榴弾×6【閃光×3】
Deterrence	SMG【50／4】	拳銃【16／5】	榴弾×12【すべて閃光】
Secretly	拳銃2丁【16／4】	榴弾【閃光】	ナイフ
Sniping	ライフル【6／0】	拳銃【16／2】	銃剣

ライフル、小銃に関しては両腕／ノクトビジョン等との連動が可能。自動照準、自動掃射を実現する。

通常時の装備は以下の通り。

- HMI-78 (50発+マガジン5個)
- SIG228 (9パラ／1丁)
- BOWIE KNIVES × 2
- 照明弾1個



↑ソーコンピストル



←P90

狙撃時の装備。観測手は加奈子または薫がつとめる。

- PSG1 RIFLE
- HK MK23 (5.7mm／1丁／レーザーサイト)
- BOWIE KNIVES × 2

■薫の携行品

拳銃 (グリズリー50)、モバイル コンピュータ、コミュニケーター (通信機) のみ。

■衛の携行品

衛は通常は拳銃1丁のみ。RIOTを指揮するときは通常以下の装備をする。

スカル・クラッシャー【8発／4マガジン】
H&K MP-5A3【2マガジン】
榴弾×4【閃光×2／マーカー×2】
指揮用コミュニケーター

■G-Communications Satellite ””

アメリカ陸軍の発注によって最近打ち上げられた通信衛星。スーパーコンピュータのデータ転送にも耐えられるよう設計された通信衛星で、各基地間、艦船間を結ぶハイウェイネットワークシステムの一つ。現在の所軍事利用しかなされていない。

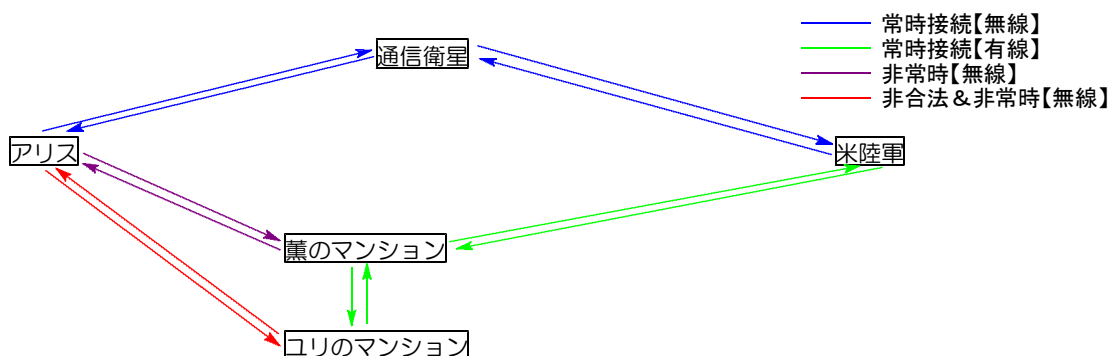
重力波通信を唯一搭載しており、アリスの義肢と極秘裏での通信が可能である。Gコミュニケーターは最近でも陸軍で配布されているらしい。

また、今後の歩兵支援衛星としての活用が期待されており、情報提供、戦地解析の支援を行うだけでなく、電磁波による電源の供給なども可能としている^{*25}。またこれと連携を取るための、銃火器、義肢（アリスのもそう）が続々と開発リストに連ねられている。ただしいずれもまだ実験段階の域を出ない。

■データの流れ

アリス自身から送られるデータはすべて一旦、米陸軍のサーバに保存される。それから必要なデータが帝謀及び自衛隊情報本部／IHIへ転送される。またそれとは別に予備として、薫のマンションのサーバに、それが動作不能に陥ったときにはユリのマンションのサーバに転送される。ただし、重力波通信のデータを受け取れるのは米軍のサーバのみ。

データの内容は、①アリスが見ている動画データ、②義肢の学習データ、③ASSのデータ、④GPSやMCSSのデータでその中でも最もサイズがデカいのが④。常に転送し続けているのが①②。ただし、①に関しては7日経過すると削除される。



義肢のソフトウェアは極力米陸軍のサーバを使おうとするが、ECMまたはデリンジャー現象などによってコンタクトが不可能な場合、薫のマンションのサーバを自動的に使用する。重力波通信はソフトウェアで自動的に利用することはない（そのようなコンフィグは存在する）。

ユリとの接続は非合法でありこれは薫が万一のことを考えて設置したものであるが、これによってユリはアリスのデータをリークすることが出来るようになってしまった。また、薫のサーバとユリのサーバは専用線で直結され

*25 衛星はこの電源を、宇宙空間（太陽風や太陽光など）から採る。

ており（LAN扱い）、薫のサーバの中身はコリはいつでも盗むことが出来た。

■MJP

発端は脳死者を復活させるための薬である。動的な電気信号を形成する性質を持ち、神経細胞を使って活動する。その過程において神経細胞の結合データを利用し新しいニューロ ネットワークを形成する。神経細胞の再生を可能とし、もとの脳をほぼ100%再現することが出来る。

薬ではなくプログラムで実現するというのが画期的な治療法だった。

これは **Cerebral Program** というプログラムがもとである。ウェズマは植物人間の妻を治療するためにこのプログラムを開発した。そんな矢先、奇跡的にも真由美1stが生まれる。しかし彼女の脳機能もまた不十分であった。

ウェズマは **CP** の実験も兼ねて、真由美1stに入力してみた。結果は良好で、**CP** の脳機能補助は確実に動作しているようだった。しかしながらこの **CP** にはまだニューロ ネットワークの読み出しや0からの形成は不可能だった。そこで **CP** 自体を脳内で改変成長するよう設計し直され、何度も実験が試みられた。

しかしその半ばにして、妻が真由美1stによって殺害されてしまう。極度な肉体破壊により、脳機能どころか生命機能も維持することが不可能になってしまった。ウェズマの夢はほとんどこのとき潰えたかに見える。

しかし真由美1stの見せた不思議な能力によってウェズマの夢はさらに大きくなってゆく。無からの蘇生。また、死亡した真由美1stが妊娠していたこともあり、死んだ脳と生きた脳を融合させて蘇生を成功させるなど、**CP** は **MJP** へと成長を続ける。このときすでに、ニューロ ネットワークの読み出し／書き込みが可能となり、自己のバージョン アップまでが可能となり、ネット上に意識を移すことなど時間の問題であった²⁶。

■MJPのバージョン番号

CIA と日本デジタル デマンドの努力によって、個体に **MJP** が入っているかどうかを知るプログラムが完成する。これはただ単に **MJP** のバージョン番号を返すプログラムで、もともと **MJP** 本体に組み込まれているルーチンである²⁷。もし相手に **MJP** が入っていなければ、プログラムは **NULL** を返す。

```
[00-3-6.00.d7-4928365]  
[type-class-version.version.infiltrate/figure-renewal]
```

最初の番号は、**MJP** か **L-MJP** か。ハイフンで **MJP** そのもののクラス。**MJP** は改良が加えられているため、ゲーム中でも9種類以上登場する。ちなみに **L-MJP** の場合ここが進行の度合いを示す。ハイフンで **MJP** のバージョン。この数値の意味は不明である。ピリオドで、脳内の **MJP** 浸透度で、通常ここは“d”。アリスのように100% **MJP** で回復した場合はここが“s”とかになる。そのまま **MJP** 自身の更新回数の桁数。ハイフンで、その数字のあとが実際の更新回数。

実はこのあとにその個体のニューロ ネットワーク データが膨大に続く。

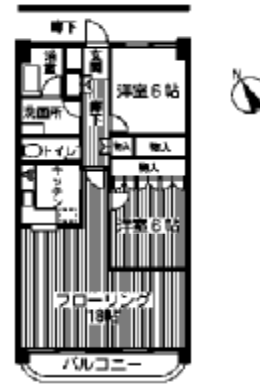
■登場人物達の住まい

*26 もっとも真由美1stは実験段階にあった **MJP** で自己バージョン・アップ能力とネットへのコピーを実現していたわけであるが……。

*27 したがって、**MJP** は他の **MJP** を識別することが出来る。また、発見されないように作られた別バージョンの **MJP** もあるらしい。



衛の部屋



薫は新宿、衛は中野にマンションを借りている。薫の部屋は整頓が行き届いていて、物も少ない。反対に衛の部屋は片付けられておらず、ゴミ袋なんかもそのままではかかってある。また衛は好奇心も強く、いろんな新製品を衝動買いしてくるのだが、そういう物が未開封のまま至る所に山積みされている。また、雑誌なども散乱している。

薫の所持品が少ないのはいつでも出ていけるようにである。1課報員の部屋にしては豪華すぎる。

ユリの部屋はユニークな形をしていて、下の階はガレージとなっている。3rdルームが彼女の仕事場になっていて、所狭しとコンピュータが並んでいる。スパコンとまでは言わないまでも、かなり高いクラスのコンピュータが設置されており、アリスのASSをある程度代替することが可能。また、彼女の資料室には今までハッキングしてきたありとあらゆるデータが揃っている。各国軍事データ、企業が所有している極秘データなどなど。これらは高密度ディスクに保存されている。

